

雲南市和鋼生産 たたら体験交流施設

雲南市吉田町では、日本古来のたたら製鉄法に現代の技術を取り入れた「雲南市和鋼生産たたら体験交流施設」があり、毎年たたら操業を実施しています。

●小たたら操業体験

耐火レンガで炉を作り、木炭と砂鉄を原料に約6時間の小規模なたたら操業体験ができます。やってみたい!というお客さまとご相談しながら実施時期を決めますので、お気軽にお問い合わせください。

●近代たたら操業

雲南市和鋼生産たたら体験交流施設では、本格的な「たたら製鉄」の体験や見学が可能です。耐火式の釜を使用すること、約24時間の操業であること以外は古式たたらの工法と同様です。年に3回程度実施しますが、時期は年度によって異なりますので、お問い合わせください。また、たたら操業に興味のある方、一緒に作業などしてみたい方もお気軽にお問い合わせください(要相談)。

予約・お問合せ先:(公財)鉄の歴史村地域振興事業団
TEL(0854)74-0311

たたら鍛冶工房

施設の修繕調査にともない、
鍛冶体験事業は中止中です。



菅谷たたら山内

島根県雲南市吉田町吉田4210-2
TEL/FAX(0854)74-0350



鉄の歴史博物館

島根県雲南市吉田町吉田2533
TEL/FAX(0854)74-0043



<お車でお越しの場合>

道の駅たたら場き番地～鉄の歴史博物館……約5分
鉄の歴史博物館～菅谷たたら山内……約7分

駐車場	自家用車	マイクロバス	中型バス	大型バス
鉄の歴史博物館(5台)	○	○	×	×
菅谷たたら山内(20台)	○	○	○	○

※中・大型バスで鉄の歴史博物館にお越しの際は、旧稲わら工房横の駐車場をご利用ください。

<公共交通機関で吉田へお越しの場合>

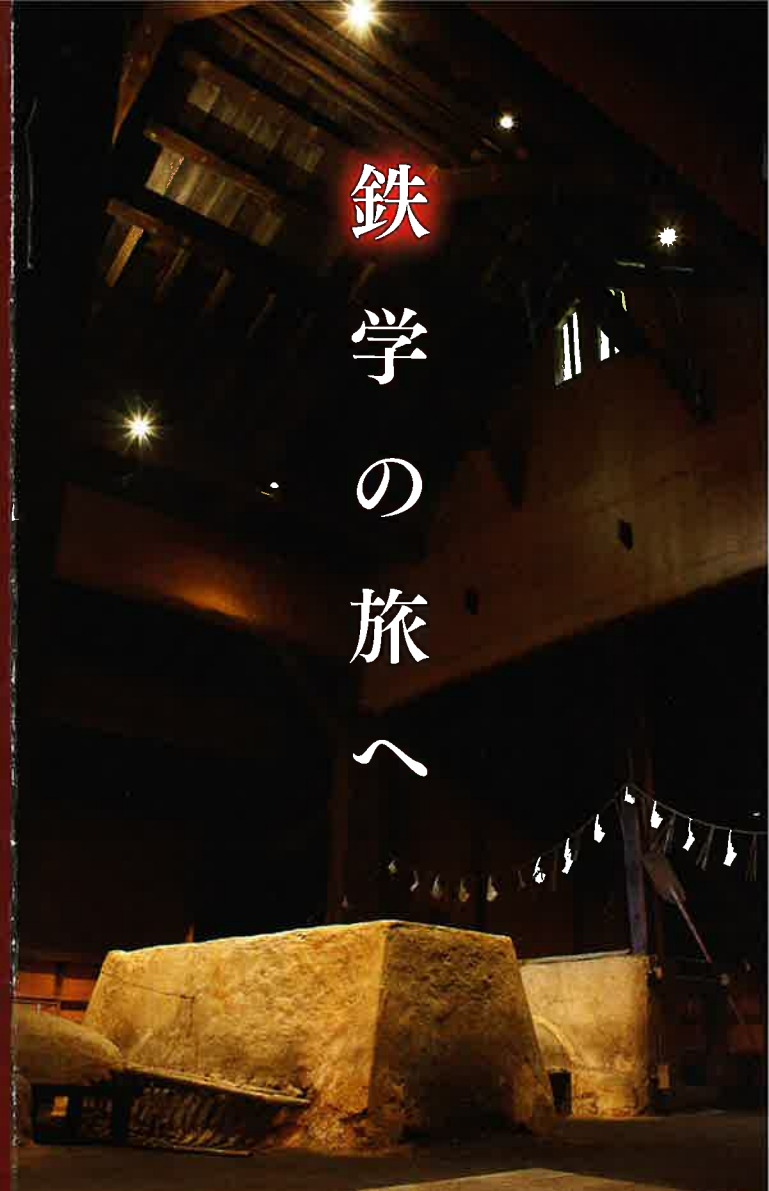
電車:最寄駅「木次駅」よりバス・タクシーで約30分
高速バス:最寄バス停「たたら場き番地」
よりバス・タクシーで約15分

入館料

菅谷たたら山内			鉄の歴史博物館		
	一般	小・中学生		一般	小・中学生
個人	310円	210円	個人	520円	260円
団体 (20名以上)	260円	150円	団体 (20名以上)	410円	210円

[開館時間] 9:00~17:00(入館締切16:00)
[休館日] 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日)

鉄 学 の 旅 へ



菅谷たたら山内 高殿
(国の重要有形民俗文化財)

公益財団法人
鉄の歴史村地域振興事業団

〒690-2801 島根県雲南市吉田町吉田2533
TEL(0854)74-0311 FAX(0854)74-0600



Instagram

菅谷たたら山内

SUGAYATATARASANNAI



菅谷たたら高殿



元小屋

たたら製鉄は、土で作った製鉄炉の中で砂鉄と木炭を燃やして鉄を作る日本古来の技術です。

菅谷たたらは鉄師(たたら製鉄業の経営者)・田部家の中心的なたたらで、江戸時代・宝暦元年(1751)から大正12年(1923)まで操業されていました。

たたらを操業する建物(高殿)は、たたら製鉄が衰退しても木炭倉庫などに使用されてい

ため、奇跡的に日本で唯一現存しています(国の重要有形民俗文化財)。第二次世界大戦中は一時たたらを操業しました。

高殿のほか、元小屋(たたら事務所・支配人の住居・銅や鉄の選別場を兼ね備えた建物)や集落、さらには山を崩して砂鉄を採取(鉄穴流し)した場所まで見事に残っています。



山内の集落

鉄の歴史博物館

TETSUNOREKISHIHAKUBUTSUKAN



旧吉田村の医師・常松邸を改造した郷土資料館で、たたら製鉄や鍛冶技術に関する道具や古文書、さらに、明治期以降の医療器具なども展示されています。

館内で上映されている映画「和鋼風土記」(上映時間30分)は昭和44年(1969)、たたら操業を復元した際の記録です。



内藤伸と初期作品「湯あがり」

また、鉄の歴史博物館の敷地内には、この地で誕生した近代彫刻の大家・内藤伸の記念館もあり、記念館には作品や愛用品、原稿などを展示しています。

たたら
VR体験



道の駅たたらば言番地



田部家土蔵群と
吉田のまちなみ



菅谷たたら山内



国民宿舎清嵐荘